

工業科 学習指導案

長野県蘇南高等学校 工業科 藤城 亘陽

- 1 日時 令和3年11月22日(月曜)第3時(11:20~12:10)
- 2 学年・組 第1学年 ものづくり系列 3名
- 3 場所 計測実習室
- 4 単元名 工業技術基礎「知的財産とアイデアの発想」
- 5 単元の目標

- (1) 知的財産権・産業財産権について理解する
- (2) 他者の意見を尊重しグループで最善のアイデアを出す
- (3) 他者の発表を多面的に判断し、適切な評価をする力を養う

6 単元の評価規準

A 知識・技術	B 思考力・判断力・表現力	C 主体的に学習に取り組む態度
知識・技術 知的財産の意義とアイデアの発想法の重要性を理解し、社会の発展をはかる実践的な関連知識を身に付けている。 技術 知的財産の意義と新規なアイデアを生み出す手法を体得し、社会の発展をはかる創造的、実践的な技術を身に付けている。	発想力 新たなアイデアや独創的な価値を考え出すことができる。 判断力 新規なアイデアを生み出す柔軟な思考・判断ができる。 友人の発表の長所や短所などを適切に評価判断ができる。 表現力 成果を相手に適切に伝える実践的な表現力を身に付けている。	自己効力感 新たな発明品についてさらに人の幸せになるよう、それをモデルチェンジすることを想像できる力を身に付けている。 レジリエンス 協働作業者と意見を出し合い、課題の最適解を出すことができる。

7 単元の指導計画及び評価計画(全4回)

	指導内容 蘇南ステッププログラム	学習活動	評価規準との関係			評価規準
			A	B	C	
第1回	知的財産について、知的財産権と産業財産権について理解する。	プリント学習 知識・技術の習得	○		○	授業観察 プリント
第2回	アイデアの発想について様々な手法を用いて深める。(アイデアの発想訓練①)	独創的な事務用クリップをつくる	○	○		授業観察 課題製作物 ループリック自己評価
第3回	アイデアの発想について様々な手法を用いて深める。(アイデアの発想訓練②)	仕事や勉強に役立つ便利でユニークな文房具を考える		○	○	授業観察 アイデア発想シート
第4回	アイデアの発想の成果を発表し、他者のコメントを聞きながらよりよい製品にするための課題を見つける。	第3回で発想したアイデアを発表 他者と対話		○	○	パフォーマンス課題 アイデア発想シート ループリック相互評価